第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	10月23日	企業名	沼津中央自動車株式会社

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

※「今年新たに取り組みした事」を青字で記載しました。

No.	側面（分類）	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・「環境経営方針」及び「エコアクション21」の取得水準に則り、電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握をしている。 ・温室効果ガス削減については、年度及び中長期の目標を設定して取組を推進している。 ・「エコアクション21」の活動を始めて13年、CO2の排出量を年間10トン削減することができた。今後の事業活動で電力消費量が増えることが予想されるが、CO2削減量に注意しながら事業活動をしている。 ・太陽光発電パネルの設置を検討中していく。（今年、工場にエアコンを導入し、使用電力量が増大したことから、対策を検討する必要がでてきた。）							●					●	●				
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・「環境経営方針」及び「エコアクション21」の取得水準に則り、産業廃棄物削減計画を策定するなど３Ｒの取組みを推進している。 ・事業活動における整備・鈑金修理について、リサイクル部品使用の目標を設定し促進に取り組んでいる。 **・使用済み自動車から、リサイクル出来たパーツ、又は資源化できた金属類などを、使用済み自動車を取り扱うNGPグループに依頼してデータ化した。その結果は「環境レポート」にて公開し、お客様方にも使用済み自動車がどのように生かされていくのか明らかにした。** ・一般廃棄物の内容を精査し、廃棄処分でなく再資源化出来るものがないか再チェックする。「燃やさなければならないゴミ」と「それ以外のゴミ」の分別の勉強を再度行いっていく。									●			●	●	●	●		
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同	・「環境経営方針」に則り、社員の環境意識向上に努めている。 ・自治会の環境整備活動などにも積極的に参加し、自社周辺の清掃活動に取り組んでいえう。（道路側溝の汚泥処理・周辺の雑草の除去など） ・20年ほど前から「エコキャップの回収活動」を行っている。ペットボトルからエコキャップを外して持ち帰るという簡単な意識が、環境を大切にする想いの一歩になる活動で、自社・社員・家族など、私たちと関わる方々に協力を求め、取組の窓口になっている。 ・工場から排出される「水」に、仕事柄どうしても油が混じってしまう問題があったことから、当社では15年ほど前から「オイル分離層」のバクテリアを活性化させて、オイル分をバクテリアに食べてもらうシステムを導入している。今では排出する水にオイル分が混じる事は全くない。システムの管理を徹底して、現在の状態を維持する。												●	●	●	●		
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請	・部品の修理交換にあたってはメーカー純正製品や認証のあるリサイクル部品を使用している。 ・リサイクル部品の仕入れに関しては、自社と同じような環境活動をしている業者からの仕入れを優先している。 **・リサイクル部品の購入先には、リサイクル部品を使用する事でCO2の削減量をデータ化した。その結果を「環境レポート」で公開した。** ・環境負荷などに関心を持つ仕入れ先の分別をしたいと思っている。										●		●	●	●	●		
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得	・車両整備に関する方針、目標、組織体制を整備して事業活動にあたっている。（自動車指定整備事業の組織作り） ・自動車指定整備事業者として「苦情・問合わせ・受付票」を作成するなど、お客さまのご意見を仕事・サービスに反映する仕組みを構築している。 ・「エコアクション２１」の認証登録済								●	●			●					

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発	・お客様がお使いになっている車を「長持ち」させること、車の「使用サイクルの延長」のお手伝いをする「エコ整備」に取り組んでいる。なかでも燃費改善とCO_2排出量削減率は同じくする関係にあることから、「燃費を向上させること」を意識した点検整備作業を推進している。 ・EVの普及啓発に向け、「クイック充電ステーション」を設置している。 ・車のコンピュータ情報を（OBD情報）をスキャンツール（車外診断機）を使って確認し、車の走行状態が適正であるかの診断を車検・点検の基本メニューに入れ、排気ガスの適正管理を行っている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・「健康経営」の取組みを通じて、健康診断、長時間残業の抑制、休暇取得など良い労働環境の実現に取り組んでいる。 ・「家庭を大切に・家族と一緒の時間を持ちなさい」を当社の基本の姿勢としている。 **・夏の「酷暑」の期間がとても長くなってきたことから、整備工場の現場で働きやすいように「完全空調（冷暖房）」完備のサービス工場にした。しかし、電力消費量が大きく増えCO2削減と反比例する現実にも直面している。**			●		●			●		●							
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					●			●		●							
9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・全員参加のミーティングでハラスメント行為を行わない意識付けを繰り返している。 **・社労士に作成していただいた「ハラスメントチェックシート」を活用して、全体会議で社員全員で現状確認と意識付けを行った。**					●			●									
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・顧客の情報をデータ化による効率化に取り組んでいる。 ・お客さまの「安心安全」と「適正整備」に向け、ICT機器の導入による「コンピューター診断」点検の実施（スキャンツールの活用による「エコ整備」）を行っている。 **・SNS（LINE）を使い客様との情報交換・入庫予約などを行えるようになった。** **・当業界では車検申請のワンストップサービス（OSS）が導入されている。いまではその先のゼロストップサービス（ZSS）に進み始めている。陸運事務所に行かなくても継続申請が完了するシステム。当社は県内業界に先駆けてゼロストップサービスを導入しました。結果、申請書類の紙類の使用が無くなり、事務効率が飛躍的に向上した。**								●	●		●	●					
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・市内在住者に限らず高校生のインターンシップを受け入れている。 ・WEBを使った求人活動もしていて、若年者に関心を持っていただくように情報発信をしている。 **・今年も高校生のインターンシップの受入れをした。**				●				●		●							
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・毎年、社員全員に「健康診断」を実施していただき、健康維持の共有をしている。 ・社員とその扶養家族も対象に「大腸がん」の検診を受診している。 ・仕事上でストレスを感じることがないよう、定期的な個人面談・相談を行っている。 **・35歳以上は「健康診断」から「人間ドック受診」にした。** **・結果を会社に報告してもらい「再検査」などの確認と、その後の経過の確認し、社員と共に健康管理をしている。**			●						●								

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・自動車業界は、2050年カーボンニュートラルに向かう「電動化」や、交通事故をなくすための「自動化」の世界に向かっている。クルマに関する技術は高度化し、それに対応する整備技術のスキルアップに努めなければならない。そのため、社員全員の課題として、積極的に技術研修会やセミナーに参加させている。 ・社員のスキルアップ・育成に向け「資格取得の支援」を行っている。 ・毎年、高校生のインターンシップを実施し、自動車点検整備が安全面だけでなく、CO2の削減にも役立つことの重要性を発信している。 ・「中学生の職場体験学習」開催事業所として窓口を広げていく。				●				●									●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・お客様方との信頼関係がなければ成り立たない業界であるため、研修や会議などの場を通じて、コンプライアンスの遵守の重要性を徹底している。 ・損害保険代理店としての「勧誘方針」を提示し、コンプライアンスの社内規定としている。 **・今年度、当業界では「ビックモーター事件」が発生したが、本件は業界の信用を著しく損なうような重大な問題だった。当社社内では、より一層のコンプライアンスの徹底に勤め業界の信用回復のお手伝いが出来るように、社員一人一人にコンプライアンスの大切さを伝えた。**								●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・SDGｓ宣言を実施するとともに「エコアクション21」推進を基本に態勢構築している。 **・「エコアクション21」の推進と同時に「SDGｓ」の取組の確認をしている。**	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・ホームページでの「環境経営方針」開示、および「エコアクション21」の「環境経営レポート」により、自社の環境やガバナンス、リスクマネジメント体制を社内外に公表している。 **・「環境経営レポート」に「SDGｓ」の取り組みを追加し冊子化した。今回は1000部印刷し、取引先・お客様・関係団体などに配布し、取り組みの輪を広げる活動をした。**												●					
17	自由 記述	環境・経済・社会		・当社は「環境の取り組み」をHPで公表し、そして内容を「冊子」にし配布して、環境意識の輪を広げる活動をしてきた。今年も新たな冊子を印刷し配布した。私たちのような小さな規模の会社の活動でも、発信する機会を探し、繰り返し「環境の取組み」を言葉にし、レポートを配布し続けることで、当社を取り巻く方々から共感を得て、活動の輪を広げていく事ができる。その想いを伝えるツールとして、当社の「環境経営レポート」を作成している。 ・一昨年「エコアクション21」から、より広く取り組みの想いを社員全員で共有出来るように、静岡銀行の協力で「SDGｓ行動宣言」をした。 ・「取り組みの想いの輪」を広げて行きたい。小さな取り組みだが、今後も積み上げていく。 ・業界の監督官庁である国土交通省中部運輸局静岡支局の「環境に優しい整備工場」の表彰を13年連続16回目の表彰を受けている。静岡県で一番多くの受賞回数をいただいている。 ・一昨年は日刊自動車新聞社主催の「2022年整備事業者アワード」の「環境部門」で全国表彰していただき、環境の取組を続けてきた成果を確認できた。 ・今後も「SDGｓ」「エコアクション21」の取り組みを続けていく。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。
①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること
②10項目以上記載すること